



夫木和歌抄
卷之五

利
1765
25



142

門 1 814
1765
24

281

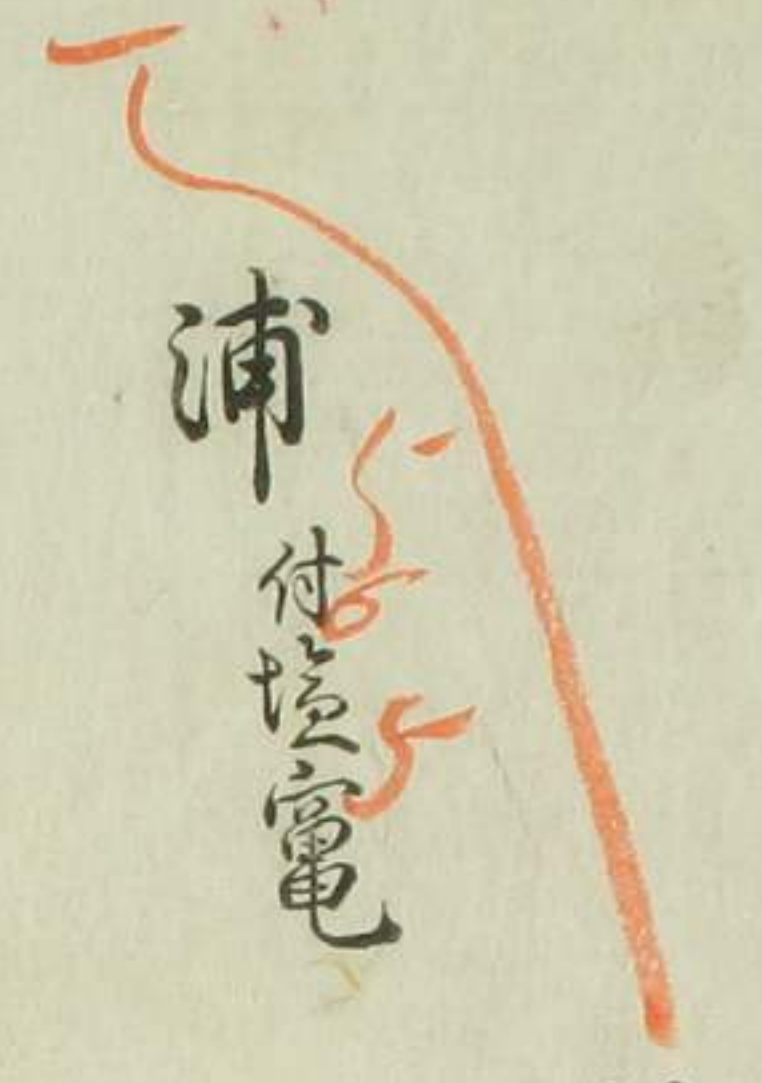
以下初頁

史本和歌抄卷之五 ^{二十}

改頁

伴前例之倣

雜部七 ^四



泊

浦

付塩竈

濱

湊

浮



浦 ^四

百首山

三行人力八

順徳院日記



ら... 神... 山...

三枚歌

捨舟

拾得心云の

浦... の... かな

光後好長

六三... 須磨明石... 浦... 達保三年...

後醍醐天皇

昭徳院...

か... 磯間浦... 記

282

長門の海

いづれも長門の海にわたりては波の音も

長門の海

いづれも長門の海にわたりては波の音も

浦

長門の海

いづれも長門の海にわたりては波の音も

年中

長門の海

いづれも長門の海にわたりては波の音も

長門の海

いづれも長門の海にわたりては波の音も

年中

長門の海

いづれも長門の海にわたりては波の音も

浦

長門の海

いづれも長門の海にわたりては波の音も

浦

長門の海

いづれも長門の海にわたりては波の音も

浦

いづれも長門の海にわたりては波の音も

浦

長門の海

116

長門の海

いづれも長門の海にわたりては波の音も

長門の海

いづれも長門の海にわたりては波の音も

浦

長門の海

いづれも長門の海にわたりては波の音も

年中

長門の海

いづれも長門の海にわたりては波の音も

長門の海

いづれも長門の海にわたりては波の音も

年中

長門の海

いづれも長門の海にわたりては波の音も

浦

長門の海

いづれも長門の海にわたりては波の音も

浦

長門の海

いづれも長門の海にわたりては波の音も

浦

いづれも長門の海にわたりては波の音も

浦

長門の海

~~~~~<sup>本</sup>~~~~~<sup>魚</sup>~~~~~<sup>浦</sup>~~~~~

~~~~~<sup>浦</sup>~~~~~<sup>干鳥</sup>~~~~~

~~~~~<sup>伊勢島</sup>~~~~~<sup>福倉右左衛門</sup>~~~~~

~~~~~<sup>玉葉冬</sup>~~~~~<sup>伊勢</sup>~~~~~<sup>浦</sup>~~~~~<sup>干鳥</sup>~~~~~

~~~~~<sup>音</sup>~~~~~<sup>浦</sup>~~~~~

~~~~~<sup>三</sup>~~~~~<sup>音</sup>~~~~~<sup>浦</sup>~~~~~

~~~~~<sup>三</sup>~~~~~<sup>音</sup>~~~~~<sup>浦</sup>~~~~~

~~~~~<sup>三</sup>~~~~~<sup>音</sup>~~~~~<sup>浦</sup>~~~~~

~~~~~<sup>三</sup>~~~~~<sup>音</sup>~~~~~<sup>浦</sup>~~~~~

~~~~~<sup>三</sup>~~~~~<sup>音</sup>~~~~~<sup>浦</sup>~~~~~

~~~~~<sup>三</sup>~~~~~<sup>音</sup>~~~~~<sup>浦</sup>~~~~~

~~~~~<sup>三</sup>~~~~~<sup>音</sup>~~~~~<sup>浦</sup>~~~~~

~~~~~<sup>三</sup>~~~~~<sup>音</sup>~~~~~<sup>浦</sup>~~~~~

~~~~~<sup>三</sup>~~~~~<sup>音</sup>~~~~~<sup>浦</sup>~~~~~

~~~~~<sup>三</sup>~~~~~<sup>音</sup>~~~~~<sup>浦</sup>~~~~~

~~~~~<sup>三</sup>~~~~~<sup>音</sup>~~~~~<sup>浦</sup>~~~~~

~~~~~<sup>三</sup>~~~~~<sup>音</sup>~~~~~<sup>浦</sup>~~~~~

~~~~~<sup>三</sup>~~~~~<sup>音</sup>~~~~~<sup>浦</sup>~~~~~

~~~~~<sup>三</sup>~~~~~<sup>音</sup>~~~~~<sup>浦</sup>~~~~~

~~~~~<sup>三</sup>~~~~~<sup>音</sup>~~~~~<sup>浦</sup>~~~~~

~~~~~<sup>三</sup>~~~~~<sup>音</sup>~~~~~<sup>浦</sup>~~~~~

家集の浦  
のうらなけらぬあし  
あはらひのうらなけらぬあし  
あはらひのうらなけらぬあし

罪  
あはらひのうらなけらぬあし  
あはらひのうらなけらぬあし  
あはらひのうらなけらぬあし

峯高  
あはらひのうらなけらぬあし  
あはらひのうらなけらぬあし  
あはらひのうらなけらぬあし

己  
あはらひのうらなけらぬあし  
あはらひのうらなけらぬあし  
あはらひのうらなけらぬあし

打  
あはらひのうらなけらぬあし  
あはらひのうらなけらぬあし  
あはらひのうらなけらぬあし

郭公  
貞和元年八月十二日  
後二位  
貞和元年八月十二日  
後二位

あはらひのうらなけらぬあし  
あはらひのうらなけらぬあし  
あはらひのうらなけらぬあし

百三  
あはらひのうらなけらぬあし  
あはらひのうらなけらぬあし  
あはらひのうらなけらぬあし

あはらひのうらなけらぬあし  
あはらひのうらなけらぬあし  
あはらひのうらなけらぬあし

あはらひのうらなけらぬあし  
あはらひのうらなけらぬあし  
あはらひのうらなけらぬあし

三ツ子  
見及ゆしひめりしよみ知りるまじく一五年二

年十二月大嘗祭に侍るまじく通國中一

のしとくさのしとくさのしとくさのしとくさ

のしとくさのしとくさのしとくさのしとくさ

のしとくさのしとくさのしとくさのしとくさ

のしとくさのしとくさのしとくさのしとくさ

のしとくさのしとくさのしとくさのしとくさ

民名由表

あつらひのしとくさのしとくさのしとくさのしとくさ

民名由表

あつらひのしとくさのしとくさのしとくさのしとくさ

民名由表

あつらひのしとくさのしとくさのしとくさのしとくさ

民名由表

あつらひのしとくさのしとくさのしとくさのしとくさ

民名由表

あつらひのしとくさのしとくさのしとくさのしとくさ

民名由表

あつらひのしとくさのしとくさのしとくさのしとくさ

民名由表

浪 <sup>我</sup> 浦 <sup>我</sup> 浪 <sup>我</sup>

妹 <sup>我</sup> 浦 <sup>我</sup> 浪 <sup>我</sup>

我君 <sup>我</sup> 浦 <sup>我</sup> 浪 <sup>我</sup>

兼 <sup>我</sup> 浦 <sup>我</sup> 浪 <sup>我</sup>

白 <sup>我</sup> 浦 <sup>我</sup> 浪 <sup>我</sup>

浦 <sup>我</sup> 浪 <sup>我</sup>

才三 浦 <sup>我</sup> 浪 <sup>我</sup>

浦 <sup>我</sup> 浪 <sup>我</sup>

浦 <sup>我</sup> 浪 <sup>我</sup>

浦 <sup>我</sup> 浪 <sup>我</sup>

浦 <sup>我</sup> 浪 <sup>我</sup>

浪

妹

我君

兼

白

才三

浦

浪

浦

浪

浦

浪

妹

我君

兼

白

才三

浦

浪

浦

浪



友千鳥 友千鳥

水元 尾社 中合海 尾社

指が信教の教

ゆいりり 源

源

たらし 源

名西 尾社

も 源

浪

ゆ 源

見

わ 源

日

の 源

沖

と 源

火

と 源

浦

と 源

浦

と 源

浦

と 源

浦

多幸年中

後集入る園日

浦 具空

浦 春

浦 妹 我

浦 春

浦 春

浦 春

浦 春

浦 春

浦 春

浦 春

浦 春 續後撰意一

浦 春

浦 春

浦 春

浦 春

浦 春

浦 春

浦 春

浦 春

浦 春

浦 春

山崎海老一書

辰九条内左兵衛

佐保姫 海老のちりや、あけとりのあまてらす、ひびきのあまてらす

遠く平越百三の合 日

てりや、あまてらす、あまてらす、あまてらす、あまてらす

船久四年十月廿五日、あまてらす、あまてらす、あまてらす

あまてらす

あまてらす、あまてらす、あまてらす、あまてらす、あまてらす

あまてらす、あまてらす、あまてらす、あまてらす、あまてらす

あまてらす

あまてらす、あまてらす、あまてらす、あまてらす、あまてらす

あまてらす、あまてらす、あまてらす、あまてらす、あまてらす

あまてらす

あまてらす、あまてらす、あまてらす、あまてらす、あまてらす

あまてらす、あまてらす、あまてらす、あまてらす、あまてらす

あまてらす、あまてらす、あまてらす、あまてらす、あまてらす

あまてらす、あまてらす、あまてらす、あまてらす、あまてらす

あまてらす、あまてらす、あまてらす、あまてらす、あまてらす

あまてらす、あまてらす、あまてらす、あまてらす、あまてらす

あまてらす、あまてらす、あまてらす、あまてらす、あまてらす

あまてらす、あまてらす、あまてらす、あまてらす、あまてらす

あまてらす、あまてらす、あまてらす、あまてらす、あまてらす

百首并 (うらのう) 芝居約長

第一の なるそくしんけの 浦 青 勘 なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの

なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの

なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの

角藤屋より百首 熱心

里金村

三 手結 浦 万三 なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの

なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの

二巻大首を承交脱後

なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの

百首并

及九条門右衛門

なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの

田 ここのへは田んぼ多し 踏つて又中丹ぬ 浦 浪 なるそくしんけの

なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの

千五百首并合

なるそくしんけの

なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの

朝 なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの

なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの

なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの

なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの なるそくしんけの

田見

萬三七  
新在冬  
浦  
出て見  
白妙  
赤人  
好忠

家集

原順教子浦

こと

百敷

浦  
たのしい  
浦  
たのしい  
浦  
たのしい  
浦  
たのしい

仁和二年二月結浦船下家奇合海を二處

前中納言師伴右

明  
あけな  
思  
分  
浦  
あけな  
思  
分  
浦  
あけな  
思  
分  
浦

四集

田子浦

あけな  
思  
分  
浦  
あけな  
思  
分  
浦  
あけな  
思  
分  
浦

布津水海と伝奇

中納言師伴右

万十七  
浦  
船  
間  
浦  
船  
間  
浦  
船  
間  
浦

新名知たり

浦  
間  
紅  
葉  
行  
浦  
間  
紅  
葉  
行  
浦  
間  
紅  
葉  
行  
浦

名集

新  
浦  
間  
浦  
間  
浦  
間  
浦  
間

百首歌

高  
浦  
間  
浦  
間  
浦  
間  
浦  
間

家集

浦  
間  
浦  
間  
浦  
間  
浦  
間

みかきけいこいんつ 高師 浦

花月百首 抄 後 権 藤 氏

花月百首の抄 浦 氏 抄 藤 氏 抄

水安元年八月全書 下房 合 氏

去有は師

書 抄 花 月 百 首

合源 抄 判 別

下 抄 合 源 抄 判 別

花 月 百 首 抄

花 月 百 首 抄

花 月 百 首 抄

花 月 百 首 抄

花 月 百 首 抄

花 月 百 首 抄

貞永元年七月 抄 判 別

花 月 百 首 抄

遠保二年 抄 判 別

花 月 百 首 抄

河後 抄 判 別

花 月 百 首 抄



住吉

~~~~~

歌本知

紀伊

~~~~~

万工

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

貝

~~~~~

家

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

意

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~


保正二年九月廿六日 大島 合意

後札の旨

我意 朝 暮

大島

和歌山

相換

日

相換

朝 暮

大島

和歌山

相換

大島

日

朝 暮

大島

和歌山

相換

大島

和歌山

相換

大島

和歌山

相換

大島

和歌山

相換

大島

和歌山

相換

和歌山

日

和歌山

万紀海 名馬 浪
 万七 名高 浦
 名馬
 紀國 赤白首
 真航 民の力 御
 見

紀國 赤白首
 真航 民の力 御
 見

万作
 新後撰 秋下
 赤白首
 中納言 國修
 衣

九月 九月 九月
 赤白首
 中納言 國修
 衣

住吉 浦
 指中納言 國修
 衣

赤白首
 中納言 國修
 衣

五葉 浦
 赤白首
 中納言 國修
 衣

長柄 浦
 赤白首
 中納言 國修
 衣

寛元四年十月 赤白首
 中納言 國修
 衣

歌名 志 揚子江

よみ人 志

あいの江の川を流るる水は
なまぬ水

揚子江の美水

あいの江の川を流るる水は
なまぬ水

揚子江

あいの江の川を流るる水は
なまぬ水

揚子江の美水

あいの江の川を流るる水は
なまぬ水

あいの江の川を流るる水は
なまぬ水

あいの江の川を流るる水は
なまぬ水

あいの江の川を流るる水は
なまぬ水

あいの江の川を流るる水は
なまぬ水

あいの江の川を流るる水は
なまぬ水

歌名 志 揚子江

よみ人 志

あいの江の川を流るる水は
なまぬ水

揚子江の美水

あいの江の川を流るる水は
なまぬ水

揚子江

あいの江の川を流るる水は
なまぬ水

揚子江の美水

あいの江の川を流るる水は
なまぬ水

あいの江の川を流るる水は
なまぬ水

あいの江の川を流るる水は
なまぬ水

あいの江の川を流るる水は
なまぬ水

あいの江の川を流るる水は
なまぬ水

あいの江の川を流るる水は
なまぬ水

武庫浦 沖津 武庫浦 武庫浦

形安二年九月彦田社并合海之眺らと判之儀如右

好子之親と申中納言

武庫浦 沖津 武庫浦 武庫浦

寛治二年百首海絶と云三位左衛門

武庫浦 武庫浦

形安

好子之親

武庫浦 武庫浦

同情頼

好子之親

武庫浦 武庫浦

寛治二年百首

好子

武庫浦 武庫浦

形安

好子之親

武庫浦 武庫浦

寛治二年百首

好子

武庫浦 武庫浦

寛治二年百首

好子之親

好子

武庫浦 武庫浦

形安

好子之親

結
~~~~~  
~~~~~

西三位左大臣

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

後醍醐天皇

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

大德院今上二系親と遠平二首船中月

如新法印

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

建長八年正月廿五日合 左手中右具氏合

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

お茶末

西条左下殿

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

お茶末

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

お茶末

後醍醐天皇

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

建長八年正月廿五日合 左九条内大臣

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

圓信の御前合對泉御信とらふと成

お茶末

後醍醐天皇



音成船種々

大淀 舟のりりつ 船のりりつ 船のりりつ 船のりりつ 船のりりつ

音成船種々

大淀 舟のりりつ 船のりりつ 船のりりつ 船のりりつ 船のりりつ

遠長公年古き言合

舟のりりつ 船のりりつ 船のりりつ 船のりりつ 船のりりつ

舟のりりつ

舟のりりつ

舟のりりつ 船のりりつ 船のりりつ 船のりりつ 船のりりつ

負意二平ら月南座西の浦のき

舟のりりつ

舟のりりつ 船のりりつ 船のりりつ 船のりりつ 船のりりつ

負意二平ら月南座西の浦のき

舟のりりつ 船のりりつ 船のりりつ 船のりりつ 船のりりつ

久安百首

舟のりりつ 船のりりつ 船のりりつ 船のりりつ 船のりりつ

舟のりりつ

舟のりりつ 船のりりつ 船のりりつ 船のりりつ 船のりりつ

舟のりりつ

舟のりりつ 船のりりつ 船のりりつ 船のりりつ 船のりりつ

弘安三年百首

舟のりりつ

舟のりりつ

足不の... <sup>浦</sup> <sup>舟</sup>

新... <sup>舟</sup> 麻里布

大... <sup>舟</sup> <sup>浦</sup>

遠... <sup>臣</sup>

海... <sup>浦</sup> <sup>爪</sup>

龍... <sup>勳</sup>

あ... <sup>君</sup> <sup>浦</sup> <sup>玉</sup>

内... <sup>浦</sup> <sup>身</sup> <sup>妻</sup>

或... <sup>常</sup>

五... <sup>君</sup> <sup>松</sup> <sup>浦</sup> <sup>世</sup>

新... <sup>橋</sup>

田... <sup>浦</sup> <sup>橋</sup> <sup>世</sup>

寛... <sup>松</sup>

ま... <sup>臣</sup>

ま... <sup>松</sup>

新... <sup>舟</sup>

四... <sup>舟</sup> <sup>浦</sup> <sup>舟</sup>

長... <sup>村</sup>

百... <sup>舟</sup>

海... <sup>舟</sup>



ふさぎ舟

洗路島 しやろしま 舟 ふね のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき

ゆけぬのり

よしみ よしみ

方主 かたぬし 舟 ふね のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき

千五百島守合 せんごひゃくしまもりあひ

弟中納言 あにちゆうなごん

時津 ときづ 舟 ふね のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき

家集 いへあづまり

庵 いへ

舟 ふね のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき

久安百 くわんひゃく

弟大納言 あにだいなごん

舟 ふね のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき

長命 ちやうめい

赤人 あかびと

万六 まんりく 舟 ふね のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき

建保三年 けんぽうさんねん

舟 ふね

明徳院 めいとくゐん

舟 ふね のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき

後三位 ごさんゐ

舟 ふね のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき

在宗 ざいそう

舟 ふね のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき のつらたぬき ぬき

島集 しまあづまり

西行 さいぎやう

伊勢 二見 浦 目 ちり

形ふか橋中 浦 目

可三 右江 浦 目

も勢水海 浦 目

可九 浦 目

形も 浦 目

音高 浦 目

江 浦 目

上 浦 目

後 浦 目

志 浦 目

鮎 浦 目

可三 浦 目

水 浦 目

相換

結後拾 浦 目

高代 浦 目

津 浦 目

西 浦 目

浦 目

百首詩集

九名門大旨

きしんりくのみあひらるるもいふとらんてあはれん

あまのこころのこころのこころのこころのこころ

源仲心 甚

おのれにうらみのこころのこころのこころのこころ

あまのこころのこころのこころのこころのこころ

あまのこころのこころのこころのこころのこころ

任世園

あまのこころのこころのこころのこころのこころ

あまのこころのこころのこころのこころのこころ

あまのこころのこころのこころのこころのこころ

あまのこころのこころのこころのこころのこころ

あまのこころのこころのこころのこころのこころ

あまのこころのこころのこころのこころのこころ

あまのこころのこころのこころのこころのこころ

あまのこころのこころのこころのこころのこころ

あまのこころのこころのこころのこころのこころ

あまのこころのこころのこころのこころのこころ

あまのこころのこころのこころのこころのこころ

あまのこころのこころのこころのこころのこころ

五十五

しんららららあいのりうたなまのりん

浅香浦

玉藻

伊弉島

えせし

あいのりうたなまのりん

遠き平百首

惟花の信

あいのりうたなまのりん

歌名

ら刺の信

五十二

あいのりうたなまのりん

住吉

平百首

常盤并入る古の信

あいのりうたなまのりん

行

伊弉島

歌名

あいのりうたなまのりん

新  
六十五

あいのりうたなまのりん

あいのりうたなまのりん

あいのりうたなまのりん

傷松の信

あいのりうたなまのりん

生田

森

歌名

あいのりうたなまのりん

妹

あいのりうたなまのりん

あいのりうたなまのりん

あいのりうたなまのりん

あいのりうたなまのりん

あいのりうたなまのりん

あいのりうたなまのりん



ひららのさうひの浦 浦 翔あまうさるるあひら

藤

抱律師 彰尊

紀海 紀 のさうひのうたねさるるあひら

徳和 三平 彰尊

法下 田曾

なす村とさうひのうたねさるるあひら

彰和 彰尊 徳和

よのうた

六二 夏 夏 国 浦 のさうひのうたねさるるあひら

遠水 元年 和奇 西奇 合海 意月

徳和

大徳 名 有 家

あまうさるるあひら 思 下すうらける月 あひら

寛文 四年 十 経 師 あり 合 海 意 月

徳和

勘

沖津 凡

作 あま せき の うら の 吹 の 吹 の 吹 の 吹

徳和 名 有 家

彰和

よのうた

岸 の 浦 の 浦 の 浦 の 浦

弘安 三年 彰 徳 彰 尊

徳和

安 徳 門 虎 四 条

徳和

紀 国 由良 浦 凡 の 浦 の 浦 の 浦

彰和

徳和 名 有 家

末 徳和

あま の 浦 の 浦 の 浦 の 浦

母 は 浦 の 浦 の 浦 の 浦

徳和

徳和 名 有 家

宿屋の  
 三津  
 御下  
 御下

御下  
 御下  
 御下

御下  
 御下  
 御下  
 御下

御下  
 御下  
 御下

御下  
 御下  
 御下

御下  
 御下  
 御下

御下  
 御下  
 御下

御下  
 御下  
 御下

御下  
 御下  
 御下



**宿松**

ありきそのまわらわらふちをいへんし人

**郎** はたけ **郎** はたけ **郎** はたけ

五 **郎** はたけ **郎** はたけ **郎** はたけ

**建** はたけ **郎** はたけ **郎** はたけ

**郎** はたけ **郎** はたけ **郎** はたけ

田島 **郎** はたけ **郎** はたけ **郎** はたけ

あふみまのりたをいへんし人

**郎** はたけ **郎** はたけ **郎** はたけ

三島 **郎** はたけ **郎** はたけ **郎** はたけ

**郎**

**郎**

**三島江**

あふみまのりたをいへんし人

**郎** はたけ **郎** はたけ **郎** はたけ

あふみまのりたをいへんし人

**郎** はたけ **郎** はたけ **郎** はたけ

あふみまのりたをいへんし人

**郎** はたけ **郎** はたけ **郎** はたけ

あふみまのりたをいへんし人

**郎** はたけ **郎** はたけ **郎** はたけ

あふみまのりたをいへんし人

**郎**



Handwritten text with red annotations: 浦, 打

Handwritten text with red annotations: 浦

信の宛先

Handwritten text with red annotations: 浦, 雁

Handwritten text with red annotations: 浦

信の宛先

Handwritten text with red annotations: 浦, 三

信の宛先

信の宛先

Handwritten text with red annotations: 早, 浦, 左, 右

信の宛先

信の宛先

Handwritten text with red annotations: 浦

Handwritten text with red annotations: 浦

信の宛先

Handwritten text with red annotations: 浦, 浦

Handwritten text with red annotations: 浦, 浦

Handwritten text with red annotations: 浦, 浦

Handwritten text with red annotations: 浦, 浦

Handwritten text with red annotations: 浦, 浦

信の宛先

Handwritten text with red annotations: 浦, 浦

信の宛先

信の宛先

Handwritten text with red annotations: 浦, 浦

達也十年形なるあやむし

源神一を

ちんちん浪しんちんちん見かたのしんちんちんちん

ちんちんちんちんちん

ちんちんちんちんちんちんちんちんちん

存由歌

7日 ちんちんちんちんちんちんちんちんちん

頁意二平ちんちんちんちんちん

民のちんちん

ちんちんちんちんちんちんちんちんちん

後三位歌

松茂やちんちんちんちんちんちんちんちん

後三位歌

住吉 ちんちんちんちんちんちんちんちんちん

家舟 ちんちんちんちんちんちん

浪 ちんちんちんちんちんちんちんちんちん

新田舟中 ちんちんちんちんちんちんちんちんちん

ちんちんちんちんちんちんちんちんちん

洞院接必歌

ちんちんちんちんちんちんちんちんちん

多岐山太の院へ雷降子 後女白

一初りある志のうらみ浦にわらうらみ千代のつらみ白

妙乳法師

あうのうらみ浦にまじあうのうらみ白の月白をうらみ白

水仁大書書 兼中初之後女白

あうのうらみ浦にまじあうのうらみ白のうらみ白をうらみ白

文曆三年一首首山寺あうのうらみ 肥後又新書

板倉の院山白

あうのうらみ浦にまじあうのうらみ白のうらみ白をうらみ白

影石白 一山白

あうのうらみ浦にまじあうのうらみ白のうらみ白をうらみ白

あうのうらみ浦にまじあうのうらみ白のうらみ白をうらみ白

湯の院山白 湯白 指大初白

あうのうらみ浦にまじあうのうらみ白のうらみ白をうらみ白

後河寺あうのうらみ 伊勢又湯白 一山白

あうのうらみ浦にまじあうのうらみ白のうらみ白をうらみ白

影石白 湯白 湯白

あうのうらみ浦にまじあうのうらみ白のうらみ白をうらみ白

名水の山あうのうらみ 紙白

あうのうらみ浦にまじあうのうらみ白のうらみ白をうらみ白

遠き年平の合ちのちのう 飛と各各

あつらひとさあつらちねとあつらのあつらひのあつらひのあつらひ

歌うた小こ如ごと

あつらひのあつらひのあつらひのあつらひのあつらひのあつらひ

歌うた葉はとまのうう

あつらひのあつらひのあつらひのあつらひのあつらひのあつらひ

山やま葉はとまのうう

あつらひのあつらひのあつらひのあつらひのあつらひのあつらひ

子このあつらひのあつらひのあつらひのあつらひのあつらひ

あつらひのあつらひのあつらひのあつらひのあつらひのあつらひ

歌うた小こ如ごと

あつらひのあつらひのあつらひのあつらひのあつらひのあつらひ

指さし中ちゆう納なつとまのうう

あつらひのあつらひのあつらひのあつらひのあつらひのあつらひ

は九条門大臣あつらひのあつらひのあつらひのあつらひ

は九条門大臣あつらひのあつらひのあつらひのあつらひ

あつらひのあつらひのあつらひのあつらひのあつらひのあつらひ

光ひかり後ご部ぶ臣しん

あつらひのあつらひのあつらひのあつらひのあつらひのあつらひ

あつらひのあつらひのあつらひのあつらひのあつらひのあつらひ

日

千<sup>西段</sup>...  
 子<sup>花</sup>...  
 之<sup>花</sup>...  
 子<sup>花</sup>...

具親給書

...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...

...  
...  
...

...  
 ...  
 ...

...  
 ...  
 ...  
 ...



×

永久元年十月在東京... (main text on the left page)

四年毎の日... (middle column text)

わすの... (right column text)

玉後... (main text on the right page)

三行... (middle column text)

須奈浦... (right column text)

万土  
 白濱 浪 霧 末  
 万六  
 三行分トル  
 日  
 白濱 清  
 白濱  
 霧 末  
 霧 末  
 霧 末

建 造  
 潮 幾  
 浪 同  
 霧 末  
 霧 末  
 霧 末

伊 執 力 海  
 霧 末  
 霧 末  
 霧 末  
 霧 末  
 霧 末

霧 末  
 霧 末  
 霧 末  
 霧 末  
 霧 末  
 霧 末

霧 末  
 霧 末  
 霧 末  
 霧 末  
 霧 末  
 霧 末





海平のつらま紀伊  
波のつらま紀伊  
凡吹け糸浪

六板記浪  
伊豆のつらま  
紀伊のつらま

初六三  
波のつらま紀伊  
浪

紀伊のつらま  
紀伊

うらまのつらま紀伊  
星合

紀伊のつらま  
紀伊

立  
波のつらま紀伊  
紀伊

可成り年  
紀伊

波のつらま紀伊  
紀伊

紀伊のつらま  
紀伊

波のつらま紀伊  
紀伊

五徳二年  
紀伊

え浦

伊勢海  
千尋寺  
浪

紀伊のつらま  
紀伊

千尋寺  
浪

X  
紀伊のつらま  
紀伊

上総  
紀伊

つらま紀伊  
紀伊

紀伊のつらま  
紀伊



續古志二

新勅撰

あしひきのたけのぼしをたれぬとていふていふ  
たれぬ

ていふていふていふていふていふていふ  
根

ていふていふていふていふていふていふ  
根

ていふていふていふていふていふていふ  
根

ていふていふていふていふていふていふ  
根

ていふていふていふていふていふていふ  
根

ていふていふていふていふていふていふ  
根

ていふていふていふていふていふていふ  
根

ていふていふていふていふていふていふ  
根

ていふていふていふていふていふていふ  
根

ていふていふていふていふていふていふ  
根

ていふていふていふていふていふていふ  
根

ていふていふていふていふていふていふ  
根

ていふていふていふていふていふていふ  
根

X

万三

長年

笑合村

家集

萬盛

雅字中

名知

洞院抄

歌合

久五百首

常酒

母友

善人

懐中  
代表草子

あしひきのたけのぼしをたれぬとていふていふ

万六

万三



信  
名草

家  
あはれやうのうへにたつとて

達係の年二文命を補言  
系波作

里涌  
あはれやうのうへにたつとて

影  
音

催馬樂  
或本  
あはれやうのうへにたつとて

影  
音

相換

萬代  
あはれやうのうへにたつとて

影  
音

あはれやうのうへにたつとて

あはれやうのうへにたつとて

千音

あはれやうのうへにたつとて

あはれやうのうへにたつとて

影  
音

あはれやうのうへにたつとて

あはれやうのうへにたつとて

あはれやうのうへにたつとて

あはれやうのうへにたつとて

あはれやうのうへにたつとて

あはれやうのうへにたつとて

あはれやうのうへにたつとて

あはれやうのうへにたつとて

あはれやうのうへにたつとて

あはれやうのうへにたつとて

あはれやうのうへにたつとて

あはれやうのうへにたつとて



SPDの海にけしきりしは  
海にけしきりしは  
 中津

いし  
 中津  
 中津

おはなはな  
おはなはな

おはなはな  
おはなはな

おはなはな  
おはなはな

おはなはな  
おはなはな

おはなはな  
おはなはな

おはなはな  
おはなはな

おはなはな  
おはなはな

おはなはな  
おはなはな

おはなはな  
おはなはな

おはなはな  
おはなはな

おはなはな  
おはなはな



X

かゝるは... <sup>花菱</sup> ...

自...  
*imigawa*

万二 轉豆圓

*imigawa*  
*imigawa*  
*imigawa*

... <sup>白玉</sup> ...

水久田... *imigawa* ...

... <sup>白</sup> ...

... <sup>白</sup> ...

...  
*imigawa*

... <sup>待</sup> ...

... <sup>待</sup> ...

... <sup>待</sup> ...

玉旅 更科日記  
天として

... <sup>思</sup> ...

... <sup>思</sup> ...

... <sup>思</sup> ...

... <sup>思</sup> ...

... <sup>思</sup> ...

お集 まつらぬ

え真

あつれと <sup>松</sup>あつれの <sup>車</sup>あつれ <sup>船</sup>あつれ <sup>年</sup>あつれ <sup>見</sup>あつれ <sup>て</sup>あつれ

お集 <sup>甚</sup>お集 <sup>甚</sup>お集

は九条門を

あつれ <sup>甚</sup>あつれ <sup>甚</sup>あつれ <sup>甚</sup>あつれ

天保二年 <sup>あつれ</sup>あつれ <sup>あつれ</sup>あつれ

あつれ

あつれ <sup>浪</sup>あつれ <sup>間</sup>あつれ

あつれ <sup>あつれ</sup>あつれ <sup>あつれ</sup>あつれ

あつれ <sup>あつれ</sup>あつれ <sup>あつれ</sup>あつれ

あつれ

あつれ

あつれ <sup>あつれ</sup>あつれ <sup>あつれ</sup>あつれ

あつれ

あつれ <sup>あつれ</sup>あつれ <sup>あつれ</sup>あつれ

あつれ

あつれ

あつれ <sup>あつれ</sup>あつれ <sup>あつれ</sup>あつれ

あつれ

あつれ <sup>あつれ</sup>あつれ <sup>あつれ</sup>あつれ

あつれ

あつれ

月ヶけららとてしるしきくもりあはよみきとらわらるるの浪

古くは白浪音

月

志ん門の吹あけよもつとまふはしあつとまふとまふ浪

寛治元年四月四日海を松平の人

西園寺入名おとめ宮

<sup>松平六</sup>松平の女吹あけのう海に松平の浪

清業

忠臣入名松平

<sup>松平六</sup>松平の女吹あけのう海に松平の浪

松平六

後二位源盛朝

白くち小吹あけのう海に月がそくつとまふのう海に

松平六

ちりりたるう吹あけのう海に松平の浪すじつとまふ月を

松平六

松平六

<sup>松平六</sup>松平の女吹あけのう海に松平の浪

松平六

あつとまふのう海に松平の浪すじつとまふ月を

松平六

つ介とまふのう海に松平の浪すじつとまふ月を

松平六

530

X

松尾云

Shirayama no Yama no Onsen no Uchi no Onsen

Shirayama

新中納言

Shirayama no Yama no Onsen no Uchi no Onsen

新橋

指宿

Shirayama no Yama no Onsen no Uchi no Onsen

Shirayama

殿内

Shirayama no Yama no Onsen no Uchi no Onsen

十三年

後鳥羽院

Shirayama no Yama no Onsen no Uchi no Onsen

Shirayama

Shirayama

Shirayama no Yama no Onsen no Uchi no Onsen

Shirayama

日

Shirayama no Yama no Onsen no Uchi no Onsen

Shirayama

Shirayama no Yama no Onsen no Uchi no Onsen

Shirayama

Shirayama

Shirayama no Yama no Onsen no Uchi no Onsen

日

日

Shirayama no Yama no Onsen no Uchi no Onsen

Shirayama

Shirayama



五  
よるの...  
国

あきふ

二位

あきふの...  
十一年

建武三年九月十三日

二位

あきふの...  
浪

九年九月

為

あきふの...  
豊国

十一年

家

あきふの...  
濱

あきふ

あきふ

あきふの...  
三た

あきふ

あきふ

あきふの...  
あきふ

あきふ

あきふ

あきふの...  
あきふ

あきふ

あきふ

あきふの...  
あきふ

あきふ

あきふ

拾遺  
 松  
 大  
 海の邊に  
 舟を  
 乗せ  
 遠く  
 行く

浪三三三首

浪三三三首

うしろの  
 浪  
 白  
 波  
 我  
 舟  
 行く

舟を  
 乗せ  
 遠く  
 行く

浪三三三首

わらわの  
 舟  
 行く

舟を  
 乗せ  
 遠く  
 行く

舟を  
 乗せ  
 遠く  
 行く

天平  
 四年  
 正月  
 夜  
 舟  
 行く

舟を  
 乗せ  
 遠く  
 行く

天平  
 四年  
 正月  
 夜  
 舟  
 行く

舟を  
 乗せ  
 遠く  
 行く

舟を  
 乗せ  
 遠く  
 行く

舟を  
 乗せ  
 遠く  
 行く

舟を  
 乗せ  
 遠く  
 行く

舟を  
 乗せ  
 遠く  
 行く

舟を  
 乗せ  
 遠く  
 行く

舟を  
 乗せ  
 遠く  
 行く

335

X

萬云  
 萬云  
 住吉  
 三行カトル

萬云  
 都

萬云  
 廣田社市合

風雅賀  
 三國  
 勸  
 老後約片  
 徳陰  
 惟意廣さ約片

寛治三年十一月  
 万二の月  
 万二の月  
 万二の月  
 万二の月

寛治三年十一月  
 万二の月

寛治三年十一月  
 万二の月

寛治三年十一月  
 万二の月

寛治三年十一月  
 万二の月

寛治三年十一月  
 万二の月

寛治三年十一月  
 万二の月

892

?









新後撰旅送  
新拾巻上  
水菘工  
新

新後撰旅送  
新拾巻上  
水菘工  
新

新後撰旅送  
新拾巻上  
水菘工  
新

新後撰旅送  
新拾巻上  
水菘工  
新

新後撰旅送  
新拾巻上  
水菘工  
新

新後撰旅送  
新拾巻上  
水菘工  
新

新後撰旅送  
新拾巻上  
水菘工  
新

新後撰旅送  
新拾巻上  
水菘工  
新

新後撰旅送  
新拾巻上  
水菘工  
新

新後撰旅送  
新拾巻上  
水菘工  
新

新後撰旅送  
新拾巻上  
水菘工  
新

新後撰旅送  
新拾巻上  
水菘工  
新

新後撰旅送  
新拾巻上  
水菘工  
新

新統古久

仁安三年... 行... 濃か... 下智海

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

X

子母百歳守命 （漢文）

具親の旨

松月 （註） *Shōgetsu no Uta* （漢文） *Shōgetsu no Uta*

花月百首四年

はなづかば

鳴海写 *（漢文）* *（漢文）* **（註）** *（漢文）*

四葉

潮干

鳴海写

常盤井

洞院

後之住

鳴海写 *（漢文）* *（漢文）* **（註）** *（漢文）*

指宿

指宿

（漢文） *（漢文）* **（註）** *（漢文）*

十六夜日記

（漢文） *（漢文）* **（註）** *（漢文）*

日滿潮

三好下

踏次

（註）

（漢文） *（漢文）* **（註）** *（漢文）*

（漢文） *（漢文）* *（漢文）*

（漢文） *（漢文）* *（漢文）*

年一

記名

（註）

（註）

（漢文） *（漢文）* *（漢文）* *（漢文）*

百首

（註）

あつらひなむらさき ^曹 _{あつらひ}

古語歌のし

信実のむら

あつらひなむら ^{新三} _{あつらひ} ^{延吉} _{あつらひ} ^浪 _{あつらひ}

古語歌のし

信実のむら

あつらひなむら ^潮 _{あつらひ} ^錨 _{あつらひ}

古語歌のし

信実のむら

あつらひなむら ^千 _{あつらひ} ^渡 _{あつらひ} ^行 _{あつらひ} ^中 _{あつらひ}

古語歌のし

信実のむら

あつらひなむら ^朝 _{あつらひ} ^舟 _{あつらひ}

古語歌のし

信実のむら

あつらひなむら ^舟 _{あつらひ} ^舟 _{あつらひ} ^舟 _{あつらひ}

信実のむら

あつらひなむら ^舟 _{あつらひ} ^舟 _{あつらひ} ^舟 _{あつらひ}

古語歌のし

信実のむら

あつらひなむら ^舟 _{あつらひ} ^舟 _{あつらひ} ^舟 _{あつらひ}

古語歌のし

信実のむら

あつらひなむら ^舟 _{あつらひ} ^舟 _{あつらひ} ^舟 _{あつらひ}

歌本名

新編古今

~~~~~

久世百首

清信の

~~~~~

遠保二年

後三任の

船

~~~~~

~~~~~

源

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

歌集月

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

海の上  
建保三年三月廿四日  
中納言 藤原 朝臣 藤原 朝臣 藤原 朝臣

建保三年三月廿四日

難波 難波 難波 難波 難波

難波 難波 難波 難波 難波

難波 難波 難波 難波 難波

難波 難波 難波 難波 難波

難波 難波 難波 難波 難波

難波 難波 難波 難波 難波

難波 難波 難波 難波 難波

浪二位 藤原 朝臣

難波 難波 難波 難波 難波

難波 難波 難波 難波 難波

難波 難波 難波 難波 難波

難波 難波 難波 難波 難波

難波 難波 難波 難波 難波

難波 難波 難波 難波 難波

難波 難波 難波 難波 難波

難波 難波 難波 難波 難波

難波 難波 難波 難波 難波

難波 難波 難波 難波 難波

5  
 15年11月...  
 2  
 3  
 4  
 5  
 6  
 7  
 8  
 9  
 10  
 11  
 12  
 13  
 14  
 15  
 16  
 17  
 18  
 19  
 20  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50

51  
 52  
 53  
 54  
 55  
 56  
 57  
 58  
 59  
 60  
 61  
 62  
 63  
 64  
 65  
 66  
 67  
 68  
 69  
 70  
 71  
 72  
 73  
 74  
 75  
 76  
 77  
 78  
 79  
 80  
 81  
 82  
 83  
 84  
 85  
 86  
 87  
 88  
 89  
 90  
 91  
 92  
 93  
 94  
 95  
 96  
 97  
 98  
 99  
 100

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

龍名

夏

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

あ

~~~~~

現在六

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

日

あさくたの巻

朝香

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~

朝香

日集

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

月守中

あさくた

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~

黒牛

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~

近江 十夜守人 首イ 甚力 有る道成

中務名の三福会 好意

新橋旅 中務名 大伴 信三信成

朝凡 五十又 中務名 大伴 信三信成

朝凡 五十又 中務名 大伴 信三信成

浦友 五十又 中務名 大伴 信三信成

浦友 五十又 中務名 大伴 信三信成

浦友 五十又 中務名 大伴 信三信成

浦友 五十又 中務名 大伴 信三信成

浦友 五十又 中務名 大伴 信三信成

